

2023年4月16日

主日礼拝

①10:30 ②13:00

司会：①大森康弘兄 ②神長恒夫兄

プレイズ

黙禱/祈禱

(司会者)

使徒信条

(起立)

聖書

使徒行伝 17章 16-21節【新約p.211】

特別賛美

「I Shall Wear A Crown」(VTR) Ruah Worship

メッセージ

神の指(Fingerprints of God)シリーズ 79 柴田順一 牧師
「アテネ：神々の首都」 “Once Athens, Now Japan”

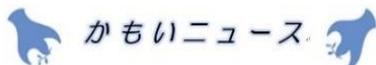
祈禱

頌栄

「イエス ヤーウェ イエシュア」 (起立)

祝禱

(牧師)



- ◇ 皆様を歓迎します。本日の YC カフェ は礼拝後にオープンします！
本日の豆：ゴールドンモカブレンド 紅茶：アッサムティー (各¥100)
- ◇ 4/30「賛美礼拝」。ゲスト:Jonathan & Philip (イギリス/マンチェスター)
- ◇ 5/3~4 (水/木)は大和教会の「献堂記念聖会」です。受付に案内あり。
- ◇ 聖書ガイド「リビングライフ5月号」(¥650)が届いています。どなたも!
- ◇ 来週の礼拝後に、防災訓練(火災想定)を行う予定でしたが、防災委員より避難ルートの「説明と報告」のみとなりました。
- ◇ 礼拝献金、什一献金等は、受付前の木製献金箱をご利用ください。

- 本日の予定 10:30「キッズチャーチ」4F 集合
11:50「ウェルカムチーム(案内係)奉仕者会」5F
12:00「聖書入門クラス」5F
- 今週の予定 水曜 19:30~20:30「バイブルラウンジ」
土曜 13:30~14:00「礼拝堂お掃除」

さて、パウロはアテネで彼らを待っている間に、市内に偶像がおびただしくあるのを見て、心に憤りを感じた。そこで彼は、会堂ではユダヤ人や信心深い人たちと論じ、広場では毎日そこで出会う人々を相手に論じた。使徒行伝 17章16-17節



「十字架の無私道(ぶしどう)」

以前、文藝春秋に北海道日本ハムファイターズ栗山監督の「野球は無私道(武士道)」という記事が載っていた。先月、決勝でUSAに勝利しWBCチャンピオンに輝いた「侍Japan」の栗山監督である。その武士道とは、「私をなくし、己を殺して、人の為に生きよ」という「無私道」であるという。

この道(生き方)は、「私が道である」(ヨハネ 14:6)と言われたイエス様の「だれでも私についてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、私に従って来なさい」という道に通じるものがある。

「自分を捨てる」とは自分の当然の権利や特権を放棄することであって、キリストは、天も、自分が神である事も放棄して人となり、十字架の上で己の命まで捨てて、自らの死をもって私達に命を与えてくださった。

今回のWBC侍Japanは、Teamの勝利の為に己を犠牲にして皆戦った。誰よりもホームランを打ちたいし打てる二刀流大谷選手が己を殺してバントをしたのには世界が驚いた。前評判の実力はUSAの方が上であったが、この「無私道」こそが侍Japanを勝利へと導いたのではないだろうか。

世界で最も知られる聖書の一節、ヨハネ 3:16「神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである」。この「賜わる」という言葉は、「イドーミ」(捨てる・放棄する)という語であるのだから、私達もこの道、十字架というまことの「無私道」に生きる、いえ死ぬ、まことのチャンピオン「侍Jesus(ジーザス)」にならうではないか。

今週の聖書通読【サムエル記第二】リビングライフ4月号

- 16 日 3:2-39 アブネルの死を悼み悲しむダビデ
- 17 月 4:1-12 殺されたイシュ・ボシェテ
- 18 火 5:1-12 エルサレム征服
- 19 水 5:13-25 ダビデとペリシテ人の第二次戦争
- 20 木 6:1-15 神の箱の運搬に失敗する
- 21 金 6:16-23 ダビデとミカエルの葛藤
- 22 土 7:1-17 神殿を建てることを願うダビデ
- 23 日 7:18-29 神の恵みに対する感謝

